

はじめに

持続可能な都市構造 ～快適で充実した暮らしを続けられるまちを目指して～

平成 17 年の合併から 10 年を経る中で、上越市では広い市域に備わる豊かな地域資源と奥深い歴史、文化を互いに尊重し、認め合いながら、地域の発展と市民生活の質の向上を目指す新たなまちづくりの時代へ歩みを進めています。

平成 26 年 12 月に策定した第 6 次総合計画は、当市がその新たなまちづくりを進めていくための大きな指針であり、目標となる将来都市像を、「すこやかなまち～人と地域が輝く上越～」として掲げています。そして、まちの総合力を一層高め、“選ばれるまち”“住み続けたいまち”を目指す様々な施策や取組が進んでいます。

こうした中、人口減少・少子高齢化社会が到来したわが国においては、社会経済の情勢が大きく変化しており、国、地方を問わず厳しい財政状況の下で、効率的かつ効果的な社会資本の維持・整備を図る一方で、将来に向けた「価値ある投資」も確保していくことが求められています。

こうした状況を踏まえ、当市では、このたび、この第 6 次総合計画を基調としながら、今後 20 年間にわたる都市整備の基本方針となる「上越市都市計画マスタープラン」を策定いたしました。

本プランは市民が快適で充実した暮らしを続けることのできるまちを実現するための方向性を示すとともに、「快適で充実した都市(生活)空間を形成し、各拠点が相互に連携した持続可能な都市構造」を目指すものであります。あわせて、まちの総合力を高めるため、都市計画区域のみならず全市域を対象区域とするなど、各地域の特色を踏まえながら、それぞれのまちの方向性を示し、調和のとれた都市構造を実現するための取組も記載しています。

本プランの策定に際しましては、様々な分野の学識経験者や市内の各種団体の方々、市民委員の皆さまで構成された策定委員会を設置し、上越市の将来都市像をテーマにそれぞれがお持ちの視点や知見をお寄せいただきながら 11 回にわたる幅広い、議論、検討が重ねられました。さらに、地域の代表の方々とも意見交換を行い、地域の現状や課題を改めて確認、整理するなど、幅広い分野に対応できる計画とするよう、意を用いました。

結びに、この間様々なご尽力をいただきました上越市都市計画マスタープラン策定検討委員会の委員の皆さんをはじめ、地域別意見交換会やパブリックコメントなどを通じて多くの市民の皆さんからも、それぞれに有益なご意見やご提言をいただいたところであり、本計画に反映できましたことを重ねて感謝申し上げます。

平成 27 年 8 月

上越市長 村山 秀幸